

# ETAJIMA GoON! Vol.3



(株)安原自動車 安原さん

ほうじじ 寶持寺・山下 崇晴さん

私自身が『作法』の発信源に。  
実際に来て、見て、感じていただけたら。

「良い町だなあ」と思ったと  
すが、全国あらゆる場所に行っていま  
して全国あらゆる場所に行っていま  
いかと思います。私自身、活動を通  
れらが島の根っこの部分なのではな  
や文化が非常に豊かな島であり、こ  
私たちが暮らす江田島市は、歴史



(写真) 綺麗に修復された仏具や仏像たち。

としてみ  
奥行きが  
無く、尻  
すばみし  
てしま  
ます。大  
事なこの  
は、この  
土地で経  
験から  
幸いで  
ます。ま  
だ、実際  
に肌で感  
じていた  
だけだ  
ら、共に  
心を育  
みつつ、  
生活に  
根付い  
たら、お  
寺を復  
興してい  
けたら  
と願っ  
ていま  
す。ま  
ずは、お  
寺に足  
を運ん  
でいた  
ら、お寺  
を復興  
してい  
けたら  
と願っ  
ていま  
す。ま  
ずは、お  
寺に足  
を運ん  
でいた  
ら、お寺  
を復興  
してい  
けたら  
と願っ  
ていま  
す。



1



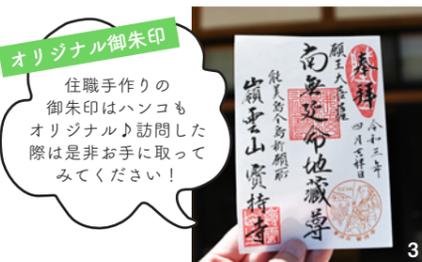
2

**再生のヒントは足元から**  
今、江田島市では地域の活性化に  
向けて、積極的に新しいことに取り  
組んだり、盛り上げていこう！とい  
う動きがありますよね。私も住職に  
なっているから、自分が成すべきこと、  
いま出来ることを考え、少なからず  
色々なものに取り組んできました。  
しかし、日々の修行や、また、お寺  
の復興を通して知ったことは「まず  
は足元から見直すことが大切」とい  
うことです。

こころは、大体が歴史や文化を大事に  
している町だった。それが個性に  
なっていて、町の魅力の基盤となっ  
ています。世代間の違い・価値観の  
違いもあるかもしれませんが、「知  
らない」ということ自体がもった  
ないと思います。例えば、最近塩づ  
くりが着目されていると聞きます。  
この島では、天日干しや竈吹きな  
ど、時間をかけて塩を作ると、非  
常に粒の大きい、ミネラルが豊富  
な甘塩が出来るんです。こうした  
ことを、昔の人は知っていて、作っ  
ていた。ヒントは、実は歴史や文化  
の中にちゃんと残っているんですよ。  
昔の人たちは現代に色々な智慧を  
残している。それをもう一回見直  
うじやないかという活動が全国的  
の島の魅力や、これから地域を活  
性化させていくヒントが足元にた  
くさんあるのだと思います。もち  
ろん、新しいことをすることも大切  
ですが、新しいことだけだと、地の  
力としての

培った「人の智慧」なんです。とにかく、  
人を大事に、地道に智慧を育てていく  
ことが必要だと思います。  
**自身が発信源となり 伝えていきたいこと**  
曹洞宗の修行は、滝に打たれるとか  
何も特別なものではありません。朝  
きて布団をたたむ、顔を洗い歯を磨く、  
食事をした後、そのような日常生活  
の「コマ」コマを、作法に従ってま  
すぐに努めていくことなんです。  
寶持寺では、毎週坐禅会を開催して  
いますが、この坐禅や作法も事実、仏  
様をまねることです。また、こうした  
お寺の作法は、長い時間をかけて先達  
たちが培ってきた、最も洗練された「命  
の生活体系」とも言えます。それを皆  
さんに伝えていきたい。最近、ほとん  
どの人は、葬儀や法事の場面でお  
坊さんの活動を見る機会がないと思  
いますが、本来お坊さんの活動や修行  
の中心は生活にあるんです。また、  
こうした普段の生活態度は、いざとい  
う時に出てくるものです。  
最後に、寶持寺は陀峯山のふもと、  
四季折々豊かな能美の自然に囲まれ  
活動しています。これからも地域に暮  
らす皆さんの平安と繁栄を祈りなが  
ら、共に心を育みつつ、生活に根付  
いたら、お寺を復興していけたらと願  
っています。まずは、お寺に足を運ん  
でいただき、実際に肌で感じていただ  
けたら幸いです。

- 1. プロも驚くという、手作りの枯山水も見どころのひとつ。
- 2. 丁寧に手入れされた、四季折々の豊かな花や緑に囲まれている寶持寺。
- 3. 住職が1枚1枚手描きで仕上げる人気の御朱印。



オリジナル御朱印  
住職手作りの御朱印はハンコもオリジナル♪訪問した際は是非お手に取ってみてください！

3



平安と繁栄を  
祈願し続けてきた  
お寺と住職の  
おはなし。

Vol.3  
大柿町・大原  
ほうじじ  
寶持寺

住職の後ろに見える本堂は、4年以上をかけて完成したもの。彫刻などはほとんど無いが、木のぬくもりを感じられる温かい仕様になっています。

江田島市唯一の禅寺、寶持寺。1200年  
以上もの間、能美島の平安と繁栄を祈り続  
けてきたお寺の住職・山下崇晴さんにイン  
タビューしました。  
豪雨災害からの復興、自身の葛藤や問題  
を乗り越えた『今』伝えたいことは。  
**忘れてはいけない 寶持寺災害と復興**  
寶持寺は平安時代に創建され  
た、江田島市内で一番歴史が古い  
お寺です。若い人たちは知らない  
かもしれませんが、平成11年6月  
29日に起きた集中豪雨による土砂  
災害によって、本堂をはじめとし  
る伽藍のほとんどを寶持寺は失っ  
ています。当時、私は21歳、愛媛  
県にある瑞応寺専門僧堂にて修行  
させていただいていた私です。私は  
「首座(しゅそ)」という修行僧の  
リーダー役を担っていて、本来で  
あれば、絶対に外に出てはいけない  
という立場ではあったのですが、  
「お寺が流された」という母  
からの電話で、急遽島に帰ること  
になったんです。そこから私が私  
と寶持寺の再建・復興という大きな  
縁の始まりでした。  
想像以上に変わり果てた姿のお  
寺、周りの環境、そして当時85歳  
であった先代住職の愕然としてい  
る後ろ姿。今でも忘れることので  
きない、忘れてはいけない大きな  
出来事でした。私も災害の波の中



http://hojiji.jp/

平安時代に創建された、江田島市内で一番歴史が古いお寺。能美島全島の祈願所として、平安と繁栄を祈り続け、島内外すべての人々を信徒とし、様々な能美島の歴史とともにずっと在り続けてきたお寺です。干ばつの時に陀峯山に登り行われてきた雨乞いや、大災害時に亡くなった人々の供養など、島をあげての公式行事も当寺院が執り行っており、島に住む人々の暮らしと共に歴史を刻んできました。



大柿町大原 3413-1 (陀峯山ふもと) ☎(0823) 57-2096 / FAX (0823) 57-2208